

博士論文審査の結果の要旨および担当者

学位申請者 坂本 淳一

論文担当者 主査 田端 千春 

副査 天野 学 

副査 木下 淳 

博士論文名 Polypharmacy Is Associated With Accelerated Deterioration of Renal Function in Cardiovascular Outpatients.

循環器内科外来患者においてポリファーマシーは腎機能悪化を加速させる

【論文審査の結果の要旨】

学位申請者は、循環器疾患を有する患者におけるポリファーマシーと関連する因子の探索および予後への影響を検討している。ポリファーマシーは、様々な疾患の患者の予後不良因子として報告されているが、ポリファーマシーがどのような要因に関与しているのか、どのように予後に影響しているのかについての報告は少ない。そのために、循環器疾患を有する患者において、ポリファーマシーとの関連因子を探索し、予後への影響を検討する本研究目的は有意義であり、薬学の研究として高い独自性・有用性があると考えられる。

研究方法として、2011年2月から2012年10月の期間に、兵庫医科大学病院循環器内科外来を受診された259名をレトロスペクティブに調査されている。対象患者群は、虚血性心疾患・心不全・末梢動脈疾患・脳血管疾患・心筋症や不整脈などの心血管疾患患者群や高血圧・脂質異常症や糖尿病などの心血管疾患の危険因子の治療患者群である。またこれらの患者群は、全血球数（CBC）や血清クレアチニンが同時に測定された連続する患者群であり、研究方法やデータ収集として適切であると考えられる。

研究結果としては、はじめに、対象患者の73.8%がポリファーマシー（処方薬剤数5剤以上）であると実証し、次に多変量解析を行った結果、処方薬剤数は、心血管疾患またはその危険因子の数、貧血および慢性腎疾患（CKD）ステージ3b以上と独立して関係することを解明され、さらに処方薬剤数は腎機能の増悪に関与する唯一の因子であると証明されている。これらデータの分析方法は適切であり、臨床にフィードバックできる非常に重要な結果を示されている。

また文献を用いた適切な考察が行われ、倫理的事項も遵守されている。観察期間の延長や、対象疾患の範囲の拡大等、今後更なる飛躍が期待される薬学の研究として意義ある研究である。

以上のことから兵庫医療大学大学院薬学研究科の論文審査基準を満たしていると判定し、本論文は博士論文として適切であると判定する。

最終試験の結果の要旨および担当者

学位申請者 坂本 淳一

論文担当者

主査 田端 千春



副査 天野 学



副査 木下 淳



博士論文名 Polypharmacy Is Associated With Accelerated Deterioration of Renal Function in Cardiovascular Outpatients.  
循環器内科外来患者においてポリファーマシーは腎機能悪化を加速させる

【最終試験の結果の要旨】

最終試験では、博士論文の内容に基づく質疑応答を行い、本研究科のディプロマシーを満たしているかどうかを審査した。

本学位申請者は、兵庫医科大学病院に薬剤師として勤務されており、博士論文として発表された本研究内容だけではなく、臨床の現場に必要な臨床全般に対する幅広い学識と豊富な経験に基づいて、適切に回答された。このことから、薬学研究者として活動するために必要な専門的知識を十分に有することを確認した。

様々な疾患の患者の予後不良因子として報告されているポリファーマシーが、どのような要因に関与しているのか、どのように予後に影響しているのかについての報告は少なく、循環器疾患を有する患者におけるポリファーマシーとその関連因子の探索や予後への影響の検討を目的とした本研究を施行した本学位申請者は、医療の抱える問題点を自ら見出し、それに基づき検証する最先端の知識と能力を有する研究者であると確認した。

本研究は、2011年2月から2012年10月の期間に、兵庫医科大学病院循環器内科外来を受診された259名をレトロスペクティブに調査されていることから、本学位申請者は、循環器疾患患者群や観察期間の拡大のみならず、対象患者群の追加や多施設共同研究への発展等、他者の研究を理解しかつ批判的に吟味できる能力に基づいて、今後さらなる研究への強い意欲をもたれていることを確認した。

また、考察は適切な引用文献を用いて妥当に行われ、論文は首尾一貫性を呈しており、倫理的事項も遵守されている。

以上のことから、本学位申請者である坂本淳一氏は、本研究科のディプロマシーを十分満たしており、最終試験を合格と判定する。